吉野ヶ里町

議会だより

題字は東脊振小学校6年永石陽栞さんの作品

湖面に漂う花いかだ（新池公園）

Vol.64

令和5年　3月議会号

「議会だより吉野ヶ里」がスマホで見られます！

【第64号の内容】

- 3月定例会…2
- 予算特別委員会…4
- 賛否状況…6
- 一般質問／7人が登壇…7
- 議会報告会・議会の主な活動・編集後記…14

一般質問ページに、今回から挿入しているQRコードを読み込んでいただきますとYouTubeにて配信している一般質問の動画が閲覧できます。

議員が原稿作成･編集した議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2

TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム ディー&ピー【発行年月日】令和5年4月27日

吉野ヶ里町議会がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町ホームページ

http:www.town.yoshinogari.saga.jp/にアクセスし、「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリック!!

令和5年度第1回3月議会定例会

定例会は3月2日から、3月17日までの会期で開催され、今議会に提案された議案25件を審議し、可決した。

また、令和5年度一般会計予算と特別会計予算5件を11名で構成する予算特別委員会で審議し、可決した。

条例関係

●吉野ヶ里町個人情報保護法施行条例

○この制度に関する規定が全国的に共通ルールになったことで、新たに本条例を策定するため。

●吉野ヶ里町個人情報保護審査会条例

○保護法に基づき附属機関を設置する。

実施機関は町長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会及び議会

●吉野ヶ里町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例

○行政手続等を簡素化及び効率化を図るため（オンライン化を図る）

●吉野ヶ里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○消防団の団員を確保することを目的として、活動の維持及び地域防災力の充実強化に取り組む一部の団員の年額報酬を引き上げるため。

部　長　3万4500円を3万7000円
副部長　2万7300円を3万6500円
班　長　1万2000円を3万6500円
基本団員　1万2000円を3万6500円
支援団員　4800円を1万4600円
ラッパ手　1万9200円を3万6500円

Q 質問　副分団長以上は据え置きの理由は。

A 答弁　国からの通達で団員階級となっている。

Q 質問　昼間の火災について地元企業に対しての出動要請は出来ないのか。

A 答弁　企業との協議をしていく。

●吉野ヶ里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び吉野ヶ里町家庭的保育事業等の施設及び運営に関する基準を定める条例及び吉野ヶ里町放課後児童健全育成事業の整備

○各事業所に安全計画の策定並びにバス送迎の安全管理の徹底が義務化されることに伴い、規定を整備する必要が生じたため。

●吉野ヶ里町立保育所条例の一部を改正する条例

○子ども家庭庁設置法の施行に伴い、引用箇所を改正するため。

●吉野ヶ里町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

○佐賀県の重度心身障害者医療費助成制度の見直しに伴い、障害の程度及び支援の必要性がより適切に評価される療育手帳の判定結果に統一されるため。

●吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例

○被保険者の出産にかかる出産育児一時金の額を引き上げるため。

出産育児金40万8000円を48万8000円に。

●吉野ヶ里町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

○資源ごみの分別・収集方法の変更に伴い、資源ごみの収集、運搬及び処分に係る手数料を見直す必要が生じたため。

●上豆田地区水路整備工事請負契約の一部を変更することについて

○作業残土処理工、産業廃棄物処理工などが増加したため契約金6092万9000円を6188万8200円。

●発議案第1号　吉野ヶ里町議会の個人情報の保護に関する条例

○個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、議会における個人情報の保護に関する規定を整備するため、新たに本条例を制定する。

●人権擁護委員の推薦

○委員の任期満了に伴い、推薦することに同意

豊留　和則さん（永田ヶ里）

補正予算

●令和4年度一般会計補正予算（第7号）

Q 質問　1月31日からスタートした出産・子育て応援交付金。事業開始後の事業実績は。

A 答弁　出産後は95名、妊娠届者は15名、産前申請は82名である。

合計192名から申請があった。

●令和4年度一般会計補正予算（第8号）

Q 質問　悪臭問題の現状は。

A 答弁　令和4年度に原因者による脱臭機増設等による改善がみられ、苦情件数が50件から13件と減少傾向にある。引き続き対応する。

Q 質問　障害児通所支援事業が拡充されているが本町においては1事業所のみである。今後の町内事業所育成の考えは。

A 答弁　事業者が空家、空き店舗を利用して開業されたい場合は支援したい。

Q 質問　出産・子育て交付金。その送金先は。

A 答弁　従来通りのプッシュ式と異なり申請時に母親もしくは父親へ支給する。

神埼市に昨年オープンした放課後デイサービス事業所（未来スイッチ）

Q 質問　子宮頸がんワクチン接種は副反応等の不安材料がある。後遺症等が発症した際の備えは。

A 答弁　国の確認で副反応の頻度が減少傾向にあり、令和4年度よりワクチン接種を推奨されている。

万が一、健康被害が発生した場合は町において調査委員会を設置し対応に当たることになる。

Q 質問　農地利用効率化等支援交付金とは。

A 答弁　地域において目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の計画を策定し、その実現に向けて生産の効率化に取り組む場合、必要な農業用機械・施設の導入等を支援し農業の成長産業化や所得の向上を図る。

補助率は3／10で上限は300万円。

今回の補正では南部地区における生産規模の拡大を図る農業者に対して、更なる農業振興を図るために農業機械の購入補助を実施する。

●令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

●令和4年度下水道特別会計補正予算（第3号）

農業後継者が減少する中で、意欲的な農業者を育成していく事も必要な行政支援である。（建設が進む共同乾燥施設）

●令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

●令和4年度後期工業用地造成事業特別会計補正予算（第3号）

造成が進む東脊振インター工業団地

予算特別委員会委員長報告

予算特別委員会は、3月2日定例会において付託された議案第18号から議案第23号までの６議案は、3月9日,13日,14日の3日間にわたり活発な質疑が行われ、審査が終了した。

その結果は、原案どおり可決すべきものと決定したので、会議規則第77条の規定により報告する。

なお、議案第18号から議案第23号の概要及び審査経過は次のとおりである。

●議案第18号　令和5年度吉野ヶ里町一般会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ104億3,116万5千円で、前年度当初と比較して５億7,482万7千円の増

○歳入について

町税は、町民税で前年度より3.3%増の9億4,952万5千円で、町税全体では、5,699万9千円増の22億6,875万円

地方交付税は、前年度より6,096万3千円増の、23億3,400万3千円

国庫支出金は、前年度より1,112万5千円増の、10億7,056万2千円

県支出金は、前年度より1,697万4千円減の、６億7,630万4千円

寄付金は、前年度より150万3千円増の、20億162万3千円

繰入金は、前年度より3億7,879万9千円増の、7億8,898万5千円

町債は、前年度より4,842万5千円増の、2億4,888万9千円

○歳出について

議会費は4万1千円減の、8,711万9千円

総務費は、総務管理費の統合庁舎整備事業推進に伴う委託料の増などにより、総務費全体では2億1,055万円増の、32億2,447万1千円

民生費は、社会福祉費の三田川健康福祉センターふれあい館及び町民憩いの家の改修工事に伴う工事費等の増などにより、民生費全体で7,002万4千円増の、27億3,526万9千円

衛生費は、清掃費の佐賀東部環境施設組合負担金の増や、資源ごみ分別収集開始に伴う資源ごみ地区協力金の増などにより、衛生費全体で1億4,484万3千円増の8億9,120万円

農林水産業費は、林業費の、5年毎の林道橋梁点検診断業務委託料の増などにより、農林水産業費全体で910万9千円増の3億6,894万6千円

商工費は、「山茶花の湯」受水槽増設工事費の増などにより、商工費全体で4,571万3千円増の、1億7,433万8千円

土木費は、都市計画費の下水道特別会計繰出金の減などにより、土木費全体で7,633万9千円減の、7億5,343万1千円

消防費は、消防団員報酬の引き上げに伴う報酬の増などにより、全体で8,592万4千円増の、4億2,923万3千円

教育費は、SAGA2024国民スポーツ大会吉野ヶ里町実行委員会負担金の増及び学校給食費原材料高騰分補助金の増などにより、教育費全体で8,639万6千円増の8億2,472万7千円

公債費は、3,328万5千円減の8億8,013万6千円

意見では、共同乾燥施設補助金について、7年間にわたり多額の補助を行う計画となっている。農家のための適正な補助となるよう、町としても十分な確認体制を取って頂きたい、などがあった。

採決の結果、予算特別委員会としては、全員賛成で承認した。

●議案第19号　令和5年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ16億7,784万7千円で、前年度と比較して347万5千円の増

●議案第20号　令和5年度吉野ヶ里町下水道特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ6億8,990万1千円で、前年度と比較して1億4,980万円の減

●議案第21号　令和5年度吉野ヶ里町簡易水道特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ365万5千円で、前年度と比較して41万5千円の増

●議案第22号　令和5年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億2,420万6千円で、前年度と比較して1,607万9千円の増

●議案第23号　令和5年度吉野ヶ里町工業用地造成事業特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ5億1,321万7千円で、前年度と比較して4億9,959万2千円の増

当初予算に対する意見

Q 質問 町税個人税収、多少増額だが、本町への移住に関しては色々な施策されているが、高額納税者移住に関しての町の対応は。

A 答弁 首都圏あたりの多数の高額納税者をターゲットにした構想はある。

Q 質問 交通対策交付金の金額が下がっているが、町は逆にワースト1脱却に向けてを入れないといけないはずだが。

A 答弁 算定方法までは分からないが前年度交付実績を基に見込みで出されている。

Q 質問 佐賀県産業関連施設整備補助金、前年度に比べて300万円増。どのような理由か。

A 答弁 工業用地のアクセス道路に充当。

令和5年度は東脊振インター工業団地及び県営産業団地のアクセス道路費で増となっている。

Q 質問 町営住宅使用料9 65万円減額となっているが、空部屋の増加が原因か。

A 答弁 空部屋増もあるが家賃決定が収入減の世帯も増えている事も事実。

Q 質問 駐車場使用料、車両を持っていない方の駐車場に車が停まっている。又貸しか。

A 答弁 車検証と申請書を提出していただき管理をしている。駐車場に空きがある場合は申請していただき2台、3台停められる方もいる。

Q 質問 会計管理費、公金JA職員が110万円増。佐賀銀行三田川支店の廃止、共栄銀行の公金取り扱い中止等で増になったのか。

A 答弁 JAが低金利で収入減となっているため以前からの要望。

他の市町も住民サービス維持のために行っている。

Q 質問 AIデマンドタクシー補助、年配の方々への配慮もされているのか。

A 答弁 ドアTOドアで利便性向上。荒尾市が先進地となっている。

Q 質問 事務補助員4名で583万2千円計上。令和4年度2名配置しマイナンバーカードの申請率も78・2%（1月末）になっているのにサポート事務補助員を増やすのか。

A 答弁 人員が足りていなくて窓口が混雑している。通常窓口とマイナンバーカード申請窓口を分けて対応予定。国の100%補助で行う。

Q 質問 定住奨励金289 0万円の内容は。

A 答弁 子育て世代の定住促進のため、45歳未満の夫婦で町内に中古・新築住宅を取得し、5年以上定住することが要件であり、基本額20万円、中学生以下の子ども1人に10万円、町外からの転入に10万円を加算する。

Q 質問 地域活性化企業人派遣負担金580万の内容は。

A 答弁 3大都市圏にあるデジタル関連企業からの人材派遣。

Q 質問 三田川小学校など空調の効きが悪いと保護者から声があがっているがその対策はどのようになっているか。

A 答弁 猛暑が続けば対応せざるを得ないと思っている。

Q 質問 移動支援事業委託とは生活支援体制整備事業のことか。

A 答弁 障がい者で屋外への移動が困難な方などに付き添い一緒にバスに乗ったりなどの移動支援である。

Q 質問 国民スポーツ大会リハーサル大会2769万円の内容は。

A 答弁 2023年鹿児島大会の視察及び事業報告費及び令和5年8月のリハーサル大会の開催に計上している。また、県より補助金が新たに予定されている。

Q 質問 スポーツ等激励補助金は、全国出場だけなのか。

A 答弁 九州大会及び国際大会も視野に入れている。また、文化的な事で出場されても補助をするよう考えている。

Q 質問 学校給食補助金は、原材料高騰分補助金350万円計上されているが、今後の考えは。

A 答弁 令和4年度の実績により約350万円を補助する。

3年後に再度見直しをする予定。

町政にもの申す 次頁から一般質問

一般質問には7人の議員が登壇し、執行部と激論を交わしました。次ページから、各議員の一般質問と答弁の内容を掲載しています。

3月定例会　案件賛否状況

第1回（3月）定例会

	結果	表決数	鶴恵美子	中村裕一	木下大学	小川勝利	生島信一郎	吉富光三郎	古川清春	古川輝英	筒井佐千生	多良光英	森田浩文	馬場茂
吉野ヶ里町議会の個人情報の保護に関する条例	承認	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度吉野ヶ里町工業用地造成事業特別会計予算	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計予算	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度吉野ヶ里町簡易水道特別会計予算	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度吉野ヶ里町下水道特別会計予算	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計予算	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度吉野ヶ里町一般会計予算	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度吉野ヶ里町工業用地造成事業特別会計補正予算（第3号）	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算（第5号）	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度吉野ヶ里町一般会計補正予算（第8号）	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
上豆田地区水路整備工事請負契約の一部を変更することについて	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
吉野ヶ里町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
吉野ヶ里町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
吉野ヶ里町立保育所条例等の一部を改正する条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
吉野ヶ里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び吉野ヶ里町放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
吉野ヶ里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び吉野ヶ里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
吉野ヶ里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
吉野ヶ里町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
吉野ヶ里町個人情報保護審査会条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
吉野ヶ里町個人情報保護法施行条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
専決処分の承認を求めることについて【令和4年度吉野ヶ里町一般会計補正予算（第7号）】	適任	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議席番号順　○＝賛成　●＝反対　欠＝欠席　—＝議長は議決に加わらない

災害に出動した時に、出動手当を支給すべきでは

吉富光三郎 議員

総務課長

問題提起いただいたので今後、協議していきたい

Q 質問 全国的に、各市町村の消防団員数が減少していると言われているが、吉野ヶ里町消防団員数の現状、推移は。

また各部の団員数はどうなっているのか。

A 答弁 総務課長　消防団の令和4年度の団員数は、幹部団員22名、本部分団本部34名、本部分団女性部23名、南部第一分団第1部24名、南部1の2が18名、南部2の1が22名、南部2の2が23名、南部3の1が19名、南部3の2が25名、南部4の1が19名、南部4の2が19名、北部第一分団第1部27名、北部1の2が25名、北部1の3が11名、北部2の1が19名、北部2の2が13名、北部2の3が8名、北部2の4が21名、北部3の1が16名、北部3の2が19名、北部3の3が18名、北部4の1が13名、北部4の2が12名、北部4の3が10名となり、合計460名となっている。

推移は、多少の増減はあるものの、ほぼ横ばいである。

Q 質問 私自身も現役消防団員で、入団して30数年経つが、新入団員が入団しないので、退団できない状況である。

南部2の1は、現在の部員平均年齢は49・3歳となっているが、消防団員平均年齢はどのようになっているのか。

A 答弁 総務課長　消防団員の平均年齢は、令和4年4月1日現在で42・8歳となっている。

Q 質問 新入団員加入促進について町の対応・対策はどうか。

A 答弁 総務課長　新入団員加入促進の取り組みとして、県が実施している「佐賀を守るみんなのヒーロー消防団」のテレビや佐賀新聞等でのPRや、本町でも2月の広報誌に「みんなのヒーロー消防団」のタイトルで1ページを使い、団員募集のPRを行っている。

消防団への配布物

消防式典風景

そのほかには、県の補助事業の消防団員確保対策事業などを活用し、消防団のイメージアップや団員特典付与として、バッグやTシャツ、マスクやタオル、ボールペンなどの配布を行っている。

Q 質問 式典出席などの訓練出動手当ではなく、実際の火災等に出動した時に出動手当を支給すべきではないのか。

A 答弁 総務課長　いつから訓練手当を支給するようになったのかは調査中だが、式典等への参加者が少なかったため、参加者を増やす取り組みとして訓練出動手当を支給するようになったと以前の担当職員から聞いている。

問題提起をいただいたので、どのような形での出動手当支給がよいのか今後協議していきたいと考えている。

文化体育館と健康センター別の委託 一緒に考えられないか

鶴　恵美子
議員

こども保健課長

協議しながら健康増進につなげていく

Q 質問 町民の健康推進の場として現在取り組まれていることは。

A 答弁 こども保健課長　きらら館及びふれあい館での運動機器の利用。またトレーニングルームでは、町民の健康増進、生活習慣病予防及び介護予防を支援する目的で器具を利用しない運動指導や筋トレも毎日定時で実施している。

Q 質問 文化体育館と健康福祉センターでは、別々に委託費がかかっている。

管理業者と一緒に町全体で協議しながら段階ごとの「健康つくり」を考えられないか。

A 答弁 こども保健課長　令和5年からは、両施設トレーニングルーム運営担当者同士で定期的な協議の場を設けながら、町民の皆様の健康推進に繋げていきたい。

老朽化に伴い2年2ヵ月に渡り休館中の温水プールについて

Q 質問 改修費用及び改修した場合の使用期間は。

A 答弁 社会教育課長　改修事業費としては約3億円を見込んでいる。物価高騰により工事費の増額も考えられる。あくまで概算である。

使用期間は、改修内容にもよるが約10～15年を想定。

Q 質問 改修後の維持管理の経費は。

A 答弁 社会教育課長　コロナ禍前の予算では1953万3千円を計上していた。

休館中の温水プール

Q 質問 町長の温水プールに対する思いは。

A 答弁 町長　耐震年数がある限り活用したい。

Q 質問 庁舎跡地利用の事も考えこの10年程度しか使えない施設に予算をつぎ込むより、民間の資金や運営能力したPPP・PFI事業で新たな健康推進事業は考えられないか。

A 答弁 社会教育課長　新規での温水プール計画はない。

中心地づくり構想計画を進める中で民間の資金・ノウハウを活用した取り組みも今後考えていく必要がある。

ジャパンパイル跡地について

Q 質問 工場跡地の撤去計画が進みだしたが詳しい予定は。

A 答弁 企画調整課長　年度内に工場敷地内の建物と機械装置すべてが撤去予定。

Q 質問 撤去後の土地所有権は。

A 答弁 企画調整課長　昨年6月に町長が面会。

現時点では売却・譲渡等の連絡はない。

Q 質問 地盤調査及び水質調査の予定は。

A 答弁 企画調整課長　実施時期は未定。

撤去中のジャパンパイル跡地

「少年の主張大会」をどのような思い・位置づけで実施しているか

木下　大学
議員

町　長

子どもたちの将来に役立つので今後も続けていきたい

Q 質問 令和4年の不登校児童生徒数は。

A 答弁 学校教育課長　三田川小8名、東脊振小3名、三田川中15名、東脊振中5名で、昨年より、小学校で3名、中学校で2名増加。コロナ禍で欠席し易くなったことも一因と考えられる。

Q 質問 中学校だよりの生徒アンケートをどのように判断するか。

A 答弁 学校教育課長　肯定的意見（そう思う・だいたいそう思う）の割合が高くなっており、学習等に関する積極性や意欲の向上が見て取れる。

Q 質問 タブレットの利用方法は。

A 答弁 学校教育課長　基礎学力の向上、プレゼンテーションソフトを活用した発表、更に家庭学習での効果を期待。

Q 質問 不登校ネットワーク連絡会の実施は。

A 答弁 学校教育課長　不登校及び不登校傾向生徒の現状を把握し、幅広い立場からの意見を収集し、具体的な対策を講じ、改善・解決に向けての取り組みを行う。

Q 質問 教育支援センター「ほうゆう」の具体的な効果は。

A 答弁 学校教育課長　利用者は、年5～6名。令和4年度は9名で増加傾向を示す。個々の生徒に寄り添い、児童生徒に即した対応を主とし、通級を併用しながら4名程学校復学している。

Q 質問 中高一貫校の数と進学生徒数の数は。

A 答弁 学校教育課長　表のとおり。

中高一貫校　進学生徒数

	H30	R元	R2	R3	R4
私立(6校)	6	4	7	5	7
県立(4校)	13	17	14	12	9

Q 質問 少年の主張の取り組みをどのように思い・位置づけで実施されているのか。

A 答弁 社会教育課長　人格を形成する上で重要な時期にある小学校高学年児童及び中学生が、広い視野と柔軟な発想・創造性と共に物事を理論的に考える力、又、自らの主張を正しく理解してもらう力などを身に付けることが大切。

A 答弁 町長　青少年育成町民会議のメインの取り組みとして、今後も続けていきたい。

Q 質問 以前実施の世代交流の場、「大人としゃべり場」の復活は。

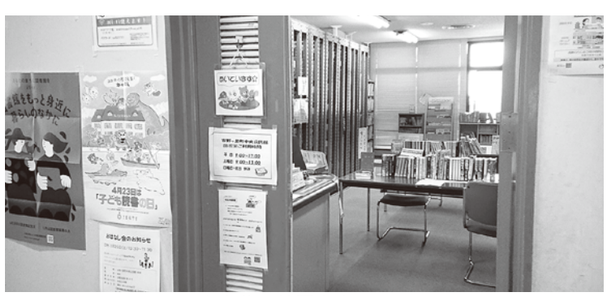
A 答弁 社会教育課長　コロナ禍のため、2ケ年休止。感染症対策を図りながら、令和5年度より再開する予定。

Q 質問 公民館図書室の閉館日の縮小は。東脊振公民館図書室の土曜日の開館は。

A 答弁 社会教育課長　委託費や人件費等を考慮し、慎重に検討する必要がある。

Q 質問 公衆wi-Fi設備の設置場所は。パソコン設置の場所は。

A 答弁 社会教育課長　防災対策室や災害対応避難所として指定されている施設に整備。パソコン・タブレットの設置はない



中央公民館図書室

コミュニティバス循環線廃止は交通弱者の切り捨てではないか

多良　光英
議員

町　長

利用者1%未満ではいつまでも運行できない

Q 質問 令和5年10月からコミュニティバス循環線を廃止、その経緯は。

A 答弁 財政協働課長　事前に実施した移動困難者の移動手段アンケート結果において、コミュニティバス循環線利用者数が全体の1%にも満たなかった。

単に運行形態を転換するのではなく、バス停間を結ぶコミュニティバスの機能と、自宅と施設間を結ぶデマンド型乗合タクシーの機能、この二つを併せ持つ、「乗降場所フリー」のデマンド型乗合タクシーを運行するよう計画している。

Q 質問 コミュニティバス本来の目的は、高齢者の方々に低料金での利用目的が始まり。

原料高騰などで生活必需品、食料品が軒並み値上げ、今後も大幅な値上げが予想されるが。

A 答弁 財政協働課長　民生委員の方に、デマンド型乗合タクシーのモニターをしていただき、サービスや料金など、結果はほぼ全員がサービス、300円という料金についても「安い」又は「ちょうどいい」との回答となり、さらなる満足度の向上が期待できる。

今後インフレ等が急激に進み、生活困窮者が増加するような事態になれば、交通インフラとしては当然、料金の引き下げを検討しなければと考えている。

Q 質問 コミュニティバスの利用者があるかぎり交通弱者を切り捨てることは考え直すべきでは。

A 答弁 町長　全国的に空気を運ぶバスと言われている中、議論をし、使いやすく利便性を上げるためにはやむをえない。

1%未満では、いつまでも運行できない。

コミュニティバス循環線利用状況（R3.10月～R4.9月）

	利用者数	うち免除数	経費	運賃収入	町負担額
令和3年10月	199	64	438,075	13,500	424,575
令和3年11月	250	56	413,413	19,400	394,013
令和3年12月	220	87	417,752	13,300	404,452
令和4年 1月	149	56	459,611	9,300	450,311
令和4年 2月	178	75	374,501	10,300	364,201
令和4年 3月	262	96	391,236	16,600	374,636
令和4年 4月	197	80	400,973	11,700	389,273
令和4年 5月	235	101	387,954	13,400	374,554
令和4年 6月	291	126	448,707	16,500	432,207
令和4年 7月	246	88	406,180	15,800	390,380
令和4年 8月	256	79	442,632	17,700	424,932
令和4年 9月	220	96	404,444	12,400	392,044
計	2,703	1,004	4,985,478	169,900	4,815,578

利用者1人当たり町負担額　1,781円

デマンド型乗合タクシーの今後

Q 質問 10月からデマンド型乗合タクシーが運行となるが、今後の計画は。

A 答弁 財政協働課長　今までのデマンドタクシーは最長で1時間の待ちがあったが、リニューアル後はAIがすべての情報を処理し、配車指示を行うため、乗車当日の午前7時30分から午後4時30分までの間であれば、いつでも予約を受け付けることができ、予約時にはお迎え時刻を知らせ、待ち時間を短縮することができる。

・割引申請者を除き、スマートフォン又は電話での初回予約時に利用者登録ができる。

・乗降場所フリーで、町内であればどこでも移動することができる。

・町内居住者に限らず、どなたでも利用することができ、旅行者が町内の観光地や商店などを周遊できる。

期日前投票所東脊振校区の増設の考えは

筒井　佐千生
議員

総務課長

課題が多く中央公民館1ヶ所で実施している

Q 質問 近年、全国的に公職選挙における投票率が低下傾向にあり、本町においても同様な現状にある。（表1）

現状をどのように把握し、今後、どのような対応と対策が必要だと考えているのか。

A 答弁 総務課長　前回の選挙より投票率が下がり、4選挙中3選挙において投票率は下がっている。

年代別の投票率をみると、20代が最も低く、次に10代や30代など、若い世代へのアプローチが必要と分析している。

12月の県知事選挙では広報車での巡回を期日前投票の期間に回数を増やしたら、一定の効果が見られた。

今後の選挙でも積極的に巡回を行っていきたいと考えている。

表1　本町における投票率の推移

町長・町議会議員選挙　※R4は町長選挙のみ H26年68.66%　H30年64.73%　R4年55.33%
衆議院選　※小選挙区 H21年76.31　H24年65.06　H26年59.08 H29年59.24　R3年57.54
参議院選　※選挙区、比例区 H22年64.86%　H25年57.17%　H28年57.72 R元年44.93　R4年51.0
県知事選 H19年65.67　H23年60.82　H27年53.23 H30年35.26　R4年32.9

表2　4選挙の投票者数及び期日前投票者数（率）

	投票総数	期日前人数	率
令和3年10月 衆議院選	7554人	2764人	21.2%
令和4年4月 町長・町議選	7108人	2100人	16.3%
令和4年7月 参議院選	6722人	2610人	19.8%
令和4年12月 県知事選	4258人	1938人	15.0%

Q 質問 直近4選挙の投票者数、期日前投票者数、投票率はどうあったのか。

A 答弁 総務課長　表2となっている。

表3　年代別投票率　単位：%

投票所	30代以下	4～50代	60代以上
坂本公民館	9.1	22.7	68.2
東脊振庁舎	21.7	25.7	52.6
横田公民館	25.0	31.6	43.4
目達原公民館	36.4	25.8	37.8
中央公民館	18.4	30.0	51.6
ふれあい館	25.0	33.9	41.1
全　体	24.5	30.0	45.5

Q 質問 期日前投票の投票所別、年代別の状況は。

A 答弁 総務課長　表3となっている。

Q 質問 表3のとおり、30代以下、40～50代の方々が年をかさねられて、この数を保たれるかと思えば、大変きびしい数字である。また、期日前投票をみても、15%から21・2%程で満足出来る数でもない。

これと言った策もなく、選挙期間の巡回放送の回数を増やすことの対応と、期日前投票所を東脊振校区に増設することも対策と考えるが検討されたのか。

東脊振校区の住民から要望の声も多く聞く。

きらら館であれば、トレーニングルーム活用者や、大人としゃべり場事業、若い子育て世代の方々の検診事業等を併せて計画すれば、若い世代の方々の投票率向上につながると考えるが。

A 答弁 総務課長　これまでも何度か検討したが、人員確保や施設や設備、経費など課題が多く、現在1ヶ所で実施している。

期日前投票の投票所

町から子育ての祝い金を出す時期を出費の多い時期にすべきでは

生島信一郎
議員

こども・保健課長

より効果的で切れ目ない子育て支援になるよう検討する

Q 質問 国においても子育て支援の議論が活発だが「子育て」の時期は何歳までか。

A 答弁 こども・保健課長　18歳の年度末までを「子育て」期間であると考えている。

Q 質問 国の施策として「出産・子育て応援給付金」が実施され、本年4月からは「出産育児一時金」も増額される。

町でも出生祝金を出しているが、子育てにおいて金銭的負担の大きい時期は出産初期だけではない。

町からの祝金を出すにしても、小学校入学時など出費の多いタイミングに給付した方がよいのではないか。

A 答弁 こども・保健課長　切れ目ない子育て支援を踏まえれば、議員が言うように小学校入学時などを含めて、より効果的な支援となるよう検討していきたい。

Q 質問 子育てが18歳までならば、高校生の通学定期券の補助などできないか。

A 答弁 まち未来課長　他自治体で事業効果が薄いとして廃止された事例もあり、ニーズの判断が難しい。

Q 質問 良い学校環境整備も子どもの成長には必要な要素である。

児童・生徒から要望の多いトイレの洋式化を進められないか。

A 答弁 学校教育課長　本町公立小中学校では特に中学校の洋式化率が低い。

令和５年度に改修が予定されている東脊振中学校のトイレ

東脊振中学校の2、3年生教室近くのトイレが和式しかないため、令和5年度に洋式に更新する計画である。

観光政策について

Q 質問 吉野ヶ里町観光まちづくり戦略が策定されて5年が経過した。策定後に新型コロナウイルスが発生したり、フォレストアドベンチャーや文化体育館など新たな集客施設が完成するなど様変わりしている。戦略の見直しが必要ではないか。

A 答弁 商工観光課長　今後、「吉野ヶ里町観光まちづくり戦略推進会議」を開催し、具体的な案を練る予定である。

Q 質問 令和3年6月の一般質問で観光協会又はDMO設立の考えがあると答弁された。2年近く経過したが現在の進捗は。

A 答弁 商工観光課長　まだ具体的な話になっていない。

A 答弁 町長　設立したい意欲はあるが、作ったところで行政からの補助金頼みの組織では困る。

協会自身である程度自主財源を確保できて、独立した一組織としてやっていけると見通しが立った段階で立ち上げを具体化していきたい。

全議員研修で視察した長野県白馬村の観光局

スクールバスを導入し安心して子育てできるインフラ整備の考えは

森田　浩文
議員

町　長

コミュニティバスの大型化を検討しているが2種免許保有者確保が困難。

Q 質問 国内出生数が80万人を割り、人口減少が本格化している。

65歳以上の住民が半数を占める、限界集落の状況は。

A 答弁 住民課長　東脊振校区で3地区が該当し、三田川校区では該当は無い。65歳以上の高齢者人口比率は、25・5％で県平均以下である。

Q 質問 コミュニティバスは、次年度以降定員で乗車出来ない児童もおり対応が不十分。

スクールバスの導入の考えは。

A 答弁 学校教育課長　スクールバスの導入について、国では小学校の通学距離4キロ以内、通学時間1時間以内が基準。安全面を考慮しスクールバス運行などを検討する事が重要であるとしている。

スクールバスの設置は現状難しい。

AI タクシー配備で神埼市の金融機関まで乗り入れ可能になるデマンドタクシー

次年度以降、学童送迎に定員オーバーとなるコミュニティバス。

Q 質問 高齢者福祉に向けたニーズが高いデマンドタクシー。

銀行統合で高齢者は苦慮している。神埼市までの延伸は出来ないのか。

A 答弁 財政協働課長　次年度より、金融機関がある神埼市までの乗り入れを申し込む予定。

Q 質問 人口増加対策の効果と実績、及び制度のPRの状況は。

A 答弁 まち未来課長　令和2年度の転入奨励金を令和3年度に定住奨励金とし、令和2年度19世帯、令和3年度58世帯、令和4年度61世帯と増加している。各種関係機関へも周知を行っている。

Q 質問 文化体育館の周辺道路整備、JA東脊振支所跡地、北部共乾の跡地利用は。

A 答弁 町長　JA支所の跡地利用は町も要望しているが、JAの方でも計画がある。

北部共乾は国スポの際の駐車場利用を考えたい。

老朽化による温水プール問題について

Q 質問 統合庁舎の建設計画が進む中で跡地利用、財政上の問題で慎重意見もある温水プール改修論。文化体育館と隣接する北部共乾施設跡地をPFI手法（公民連携による施設計画）を用いるなどして新設プールを作り、社会体育の場所として東脊振校区の活性化へ導く考えは。

A 答弁 町長　町作りへの提案があったが、一度に土地利用計画を講じることは出来ない。

財政上の問題もよく考えて調整したい。

文化体育館、北部共乾跡地を活かして、公民連携による温水プールを新設し社会体育のメッカとしての東脊振校区の活性化を提案した。

第7回 議会報告会を開催します。

町議会で話し合われたこと、決まったことなどを
議員が直接わかりやすくお伝えします。
多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日　5月13日(土)

時　間　14時～16時

場　所　中央公民館　講堂

議会の主な活動

（2名以上で参加した行事や会議等）

11月

30日　12月定例議会（～12月9日）

12月

9日　議会広報編集特別委員会
19日　全員協議会
22日　議会広報編集特別委員会

1月

4日　年始交歓会
8日　消防団出初式・二十歳の集い
12日　議会広報編集特別委員会
17日　筑後川水系合同期成会総会
18日　青森県南部町議会より行政視察対応
19日　全員協議会
26日　議会改革特別委員会
27日　地域商工交流会
31日　同和問題地区別研修講座
福岡県大刀洗町議会より行政視察対応
中部広域連合議会議案勉強会

2月

7日　佐賀中部広域連合定例会（～10日）
12日　北方領土返還要求佐賀県民集会
14日　東部環境施設組合議案勉強会
15日　神埼市吉野ヶ里町葬祭組合議会
16日　議会運営委員会
17日　全員協議会
21日　議会改革特別委員会
22日　東部環境施設組合定例会
議会運営委員会

新型コロナウイルス感染防止のため、多くの行事等が中止となっております。

自治功労者表彰

多良光英議員が自治功労者表彰を受賞

多良光英議員が、全国町村議会議長会より自治功労者表彰を受賞された。

多良光英議員は平成7年5月より令和5年2月までに三田川町議会議員・吉野ヶ里町議会議員を通算27年以上在職し、町政の発展に貢献された功績が認められ、今回の受章となった。

多年に渡る町への貢献に感謝すると共に受賞を心からお祝い申し上げる。

編集後記

3月13日からマスク着用緩和が始まり、個人判断となったが、まだ8割強の人がマスクを着用されている。

もちろん、時期的に花粉症の季節で、マスクを手放せない人も多い。

やはり日本人は、周りの目が気になり、屋内での着用が多い現状だ。

気温も高くなり、春の兆しもチラホラ…。

コロナ感染、物価高、ロシアのウクライナ侵攻が一日も早く収まることを祈るばかりです。

（光三郎）

○議会広報特別委員会
委員長　多良　光英
副委員長　森田　浩文
委員　古川　輝英
〃　吉富光三郎
〃　小川　勝利
〃　中村　裕一